

HANNU LINTU



広島交響楽団

第375回プレミアム定期演奏会 大阪公演

＜世界への扉 vol.1＞

ライジング・サン

KHATIA BUNIATISHVILI

© Kaapo Kamu



[指揮] ハンヌ・リントウ

[ピアノ] カティア・ブニアティシヴィリ

Concertmaster 佐久間 聡一 蔵川 瑠美
Soichi Sakuma / Rumi Kurakawa

ストラヴィンスキー：葬送の歌 op.5 (107年ぶりの新発見曲)
Stravinsky: Funeral Song op.5

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
Tchaikovsky: Piano Concerto No.1 in B-flat minor op.23

バルトーク：管弦楽のための協奏曲 Sz.116
Bartok: Concerto for Orchestra Sz.116

© Julia Wesely

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



2017 11.15(水) 7:00pm開演 (6:00pm 開場) 全席指定 5,000円(税込)

ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp>

- 広響事務局 082-532-3080 (平日9:00~17:20) <http://hirokyo.or.jp>
■ KCMチケットサービス(全国共通) 0570-00-8255 ■ KCM東京事務所 03-5379-3733 (平日10:00~18:00/土曜10:00~15:00/日祝休業)
■ e+(イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯) ■ チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:328-474]
■ ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード:55297] 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)

主催：公益社団法人 広島交響楽協会／ザ・シンフォニーホール 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

協賛：NPO法人 音楽は平和を運ぶ 運営協力：コジマ・コンサートマネジメント

発売日 一般発売／2017年5月27日(土)
広響事務局／2017年5月29日(月)
[Sinfonia会員先行／2017年5月25日(木)]

[SNS割引サービス] チケット発売後2017年10月末までに、当コンサートのことをご自身のfacebook、twitter等でご紹介いただくとチケット料金を1,000円引きいたします。
広響事務局およびコジマ・コンサートマネジメントへfacebook、twitter等のURL情報をお送りください。詳しいお申し込み方法は広響のホームページをご覧ください。
※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



広島交響楽団 ＜世界への扉 vol.1＞ ライジング・サン

第375回プレミアム定期演奏会 大阪公演

4月に下野竜也を音楽総監督に迎え、さらなる飛躍を続ける広島交響楽団。4月の大阪公演に続き、11月にもザ・シンフォニーホールへ登場する。プログラム冒頭は、いま話題のストラヴィンスキー《葬送の歌》。1908年に書き上げられたこの作品の楽譜は、長い間所在不明だったが、2015年に発見され、翌年にゲルギエフにより蘇演。世界でも稀有な実演に胸が高まる。チャイコフスキーでは、来日するたびに注目度の高まるジョージア出身のブニアティシヴィリが登場。美貌もさることながら、圧倒的なメカニックと研ぎ澄まされた感性の持ち主だ。燃え上がるようなパッションを漲らせ、濃密な抒情性と狂おしいほどの音楽への愛情に満ちたピアノを聴かせてくれるだろう。リントゥは、優れた指揮者を多く輩出しているフィンランドの出身。国内トップレベルの実力を誇る彼は、緻密なスコア読みと裏打ちされた、大きく音楽を捉える構築性豊かな指揮を特徴とする。現代ものも得意とする彼のバルトークも注目だ。音楽へひたむきな情熱を傾注する広響のこの演奏会は、感動的な一夜になるに違いない。 文=道下 京子

[指揮者]ハンヌ・リントゥ
Hannu Lintu, Conductor



©veikko kähkönen

シベリウス音楽院でチェロとピアノを学び、その後、ヨルマ・パヌラに師事。キジャーナ・アカデミー(イタリア、シエナ)でチョン・ミョンフンのマスタークラスに参加。1994年にベルゲンで開催のノルディック指揮者コンクールで優勝。2013年8月よりフィンランド放送交響楽団の首席指揮者を務める。これまでに、タンペレ・フィルハーモニー管弦楽団の芸術監督及び首席指揮者、RTÉ国立交響楽団の首席客演指揮者、ヘルシンボリ交響楽

団とトゥルク・フィルハーモニー管弦楽団の芸術監督を歴任。2016/17シーズンには、ベルリン・ドイツ交響楽団をはじめヨーロッパや北米のオーケストラと共演。2017年5月にはシベリウスのクレルヴォでフィンランド国立オペラ・バレエと共演、2017年7月にはアウリス・サッリネンのクレルヴォでサヴォンリンナ・オペラフェスティバル(フィンランド)に出演予定。

[ピアノ]カティア・ブニアティシヴィリ
Khatia Buniatishvili, Pf



ジョージア生まれ。6歳でソリストとしてデビュー。12歳より音楽活動を開始。ウィーン国立音大にてオレク・マイセンベルクに師事。ホロヴィッツ国際コンクールやルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール入賞。その後ミハイル・プレトニョフ、パーヴォ・ヤルヴィ、ウラディミール・アシュケナージなどの世界的指揮者と共演し、パリ管、フランス国立管、フランクフルト放送響、ウィーン響、フィラデルフィア管、ミュンヘン・フィル等世界の著名オーケストラにもソリスト

として登場している。世界の主要都市でリサイタルを行い、ルノー・キャプソンやトゥルルス・モルク、ギドン・クレーメル等との室内楽も数多い。'11年リスト・アルバムでCDデビュー、その後「ショパン・アルバム」「マザーランド」「カレイドスコープ」「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲2,3番」等続々と発表し、いずれも高い評価を得ている。'12年はベルリンにおいて権威ある「エコー賞」を受賞した。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。




公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>



広島の復興はクラシック音楽と共にあった

昭和21年2月、 広島の「未完成」

あの日の思いを未来につなぎたい。



特定非営利活動法人
音楽は平和を運ぶ
広島市中区小町6-30
Tel: 082・247・8604
<http://music-peace.jp>
音楽は平和